

たまが和

玉川人権だより
第7号

発行：遺跡と萩の育む
玉川まちづくり推進会議
人権委員会

〒525-0059
滋賀県草津市野路九丁目7番42号
(玉川まちづくりセンター内)
TEL：077-564-0189
FAX：077-564-0200

人権委員会活動テーマ『思いやりのある明るいまちづくりをめざして』



◆人権管外研修

2024年12月3日(火)

「人権フィールドワーク(伏見中書島コース)」

ナビゲーター：渡辺 毅 さん(穀雨企画室)

[参加者：20名]

以前から大好評の「京都観光しながら人権を学ぶ人権フィールドワーク」を4年ぶりに実施しました。当日はお天気にも恵まれ、徒歩で約2時間半かけて伏見中書島の各所を訪れ、渡辺さんの語りを聞きながら、人権についての学びを深めました。



人権フィールドワーク「伏見中書島コース」

御香宮神社→大手筋→酒蔵街→後崇光太上天皇伏見松林院陵→長建寺→中書島界隈→宇治川派流・寺田屋浜→埋立工事竣工記念碑→寺田屋→電気鉄道事業発祥地碑→油縣地蔵→黄桜カップカントリー

2024(令和6)年度 人権作品
最優秀作品(ポスターの部)

玉川中学校3年
かじわら あい
梶原 愛 さん

おめでとうございます!!!



遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議 人権委員会

◆町内学習懇談会に向けて

◎第1・第2講座(市全体研修) 2024年7月6日(土) 草津クリアホール

第1講座「部落差別とわたし」 講師：寺田 匡廣 さん(部落解放同盟草津市協議会 常任委員)

第2講座「日常の中にある部落差別ー“マイクロアグレッション”ってなに？」

講師：内田 龍史 さん(関西大学社会学部 教授)

[参加者：市全体 406(内玉川学区 22)名]

◎第3講座 2024年9月7日(土) 玉川まちづくりセンター

*玉川まちづくりセンター人権講座も兼ねています。

「目からウロコ!人権のいろは『へえ～、そうなんや～』」

講師：栗木 剛 さん(mottoひょうご 事務局長)

[参加者：49名]

何度も『へえ～、そうなんや～』とつぶやいてしまうくらい分かりやすくお話いただき、人権って身近なことだと感じられた講座でした。



【第4講座の様子】→

◎第4講座 2024年10月7日(月)

玉川まちづくりセンター

「充実した町内学習懇談会のために」

指導：中野 新識 さん

(草津市立人権センター)

[参加者：28(内行政協力者 10)名]

◆町内学習懇談会

野路町内会

12月7日(土)19:00~20:30
新宮会館2階

『ネット差別を許すな!』
DVD鑑賞、グループ討議

参加者合計 62名
(内行政協力者 4名)

野路小林町内会

12月21日(土)19:00~20:00
野路小林自治会館

『高齢者と人権』
講師：杉江 範昭 さん
(全国人権教育研究協議会)

参加者合計 29名
(内行政協力者 4名)

桜ヶ丘町内会

12月7日(土)10:00~11:00
桜ヶ丘会館

『手話と歌で笑顔になろう!!』
講師：yokko さん
(手話シンガーソングライター)

参加者合計 39名
(内行政協力者 4名)

ローレルコート南草津町内会

1月18日(土)17:30~18:30
ローレルコート南草津2階集会室

『共に生きる』
講師：上寺 和親 さん
(草津市同和教育啓発講師団)

参加者合計 19名
(内行政協力者 3名)

町内会名
実施日時
実施場所
懇談テーマ
参加人数



2024(令和6)年度 人権作品
優秀作品(標語の部)

玉川小学校3年

にしでら そう
西寺 聡 さん

ありがとうね
ぼくのとなり
に
いてくれて



2024(令和6)年度 活動報告

◆人権講座 2024年7月30日(火) *玉川まちづくりセンター人権講座も兼ねています。

「ロクちゃんと考えよう」～私の気持ち～(腹話術)

講師：奥井 照夫 さん(草津市人権擁護委員)

[参加者：54名]

身近な人権問題を短編集のようにし、腹話術を交えて楽しく学ぶことができました。



◆実践発表のつどい 2025年2月15日(土) 玉川まちづくりセンター

“取り組みの成果と課題をもとに”

○人権作文の発表

・「だれもが目指せる甲子園」

玉川小学校5年 末松 翔吾 さん

・「障がいは一つの個性」

玉川中学校2年 末松 美音 さん

○OPTA 実践報告 玉川こども園 PTA

○人権委員会活動報告

○町内学習懇談会報告 各町内会代表

○一年間の成果と課題のまとめ(草津市立人権センター)



【玉小5年末松翔吾さんと玉中2年末松美音さん】
なんと姉弟で発表していただきました☆彡



玉川区実践発表のつ



発表された人権作文は、ホームページに掲載しています。

玉川まちづくり推進会議



2024(令和6)年度 人権作品 優秀作品(作文の部)



だれもが目指せる甲子園

玉川小学校 五年 末松 翔吾(すえまつ しょうご)

0対66。今年の夏の全国高校野球西東京大会、青鳥特別支援学校と都立東村山西高校の試合結果です。青鳥特別支援学校は、全国で初めて、特別支援学校の単独チームで全国高校野球の地方大会に出場しました。

このニュースを見た時、ぼくは、障がい(色んな表現があると思います)が、今回はこのように書きます。の、ある人と、そうでない人が、平等に全力プレーで甲子園を目指す、同じスタートに立って同じゴールに向かって一生懸命になれるっていいなと思いました。ぼくも少年野球チームに入っています。高校生になったら甲子園に出るといって夢を持っていきます。それなのに、挑戦することすら否定されたら…最初から夢をあきらめなさいと言われたら…。障がいのある人には危ないからという理由で、野球をすることさえできなかった人もいます。仲間と一緒に協力し合ったり、声をかけ合ったり、勝利を喜んだり、負けをくやしがったり、そのような楽しさも野球にはあります。障がいがあっても、なくても、楽しむ権利は平等にあります。20点以上取られたら、ぼくならあきらめてしまうかもしれません。でも、青鳥特別支援学校の選手たちは5回まで戦いぬきました。試合中みんな声をかけ合っていて、アウトを一つ取る度に喜び合っていて、試合を楽しんでいたそうです。試合後の選手たちの笑顔はかやいていました。ぼくは、その笑顔を見て、試合を全力でやりきってすごいと思いました。

人権とは、生きる権利や自分の居場所があることだと思います。今の社会には、男女差別や障がいのある人への差別が多くあります。男の人だから、女の人だからというイメージで判断するのは、もうやめるべきです。障がいのある人を仲間はずれにするのもいけません。障がいがあるからといって、できないと決めつけてしまうのもいけません。だれにでも夢を持つたり、挑戦したりする権利が平等にあります。居場所があるということは、安心して暮らすことができ、自分から楽しいと思えることが見つければ、自由に楽しむことができるということだと思います。

青鳥特別支援学校の野球部は、人権を尊重した社会への大きな一歩です。将来、特別支援学校出身の人たちとぼくと、プロ野球の世界で活躍できる日が来てほしいです。

2024(令和6)年度 人権作品
優秀作品 (ポスターの部)



玉川小学校6年
くろかわ あいり
黒川 愛莉 さん



玉川小学校6年
なかがき そらほ
中垣 空芭 さん



玉川小学校6年
みねうら まこと
峯浦 真琴 さん



玉川こども園4歳児
えんどう たける
遠藤 隆琉 さん

掲載の作品は、草津市人権擁護推進協議会が募集した「人権や平和に関する作品」の中から最優秀と優秀に選ばれた玉川学区の子どもたちのものです。2024年度は、標語(5,065)・作文(129)・詩(444)・ポスター(1,807)・グループ作品(48)、総数7,493点の応募がありました。

「人権擁護委員」って
どんなことをしてる人??

玉川学区の人権擁護委員さんをご紹介します☆

おくい てるお
奥井 照夫 さん

人権擁護委員の役割

人権擁護委員は、学区の推薦の元、法務大臣の委嘱を受け、主に次のような3つの活動を行っています。

- ① 人権相談…対面と電話で相談を受け付けています。
 - ・対面(市人権センター〔月曜日〕・大津法務局〔月～金曜日〕)
 - ・電話「みんなの人権相談110番」Tel0570-003-110、「女性の人権ホットライン」Tel0570-070-810、「子どもの人権110番」Tel0120-007-110 の3つの窓口があります。電話や対面以外でも、ネットや手紙でも相談を受け付けています。
- ② 人権侵犯処置…人権侵犯救済のため必要な処置を行っています。
- ③ 人権啓発…子どもを対象とした人権教室や、人権啓発集会での講師の派遣や、街頭やイベントの啓発活動等を行っています。



「ロクちゃん」と考え
私の気持ちと腹話術
島津 崇徳

人権委員の皆さまには一年間人権教育活動にご協力をいただきありがとうございました。今年度は“楽しく学ぶ”を意識して活動してきました。誰もが安心して暮らせる社会でなければいけません。そのためには「正しく学ぶ」ことが大切です。今後も引き続き、玉川の活動テーマ「思いやりのある明るいまちづくりをめざして」努めてまいります。

遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議 人権委員会 委員長 小野元嗣

